

資料編

- 1 基本構想
- 2 小牧市総合計画審議会諮問
- 3 小牧市総合計画審議会答申
- 4 小牧市総合計画審議会条例
- 5 策定体制
- 6 策定経緯
- 7 進捗状況を測定するための指標一覧
- 8 関連条例・関連計画一覧
- 9 用語解説

1 基本構想



(1) 将来都市像

本市の目指すべき将来都市像は、

人と緑 かがやく創造のまち とします。

この将来都市像は、第5次小牧市総合計画に掲げたものですが、市民、企業、行政などがお互いの知恵と力を出し合い、着実に粘り強くまちづくりを進めていくため、将来都市像を引き継ぎ、更に時代の流れに対応するよう新たな意味を加えつつ、発展継承しました。

「人」は、市民、企業、行政、来訪者など、本市に暮らし、働き、活動する、本市に関わる人はもとより、これから生まれてくる将来の世代の人たち全てを表します。

「緑」は、自然やまちなかの緑といった目に見える緑だけでなく、次世代につなぐ良好な環境の保全を象徴しています。更には、安全や安心、豊かさ、平和などをイメージする色としての意味も含めて、本市のまちの魅力を象徴しています。

本市の大切な財産である「人」と「緑」が、共にかがやき、だれもが安全・安心にいきいきと心豊かな暮らしを実現できる魅力ある本市を、市民、企業、行政などが力を合わせて創造していくことを目指します。

(2) 基本理念

将来都市像を足元から着実に実現するため、まちづくりの原点である、「人」の「暮らし」という視点から、本市の基本姿勢を3つの基本理念として掲げます。

暮らしを守る

「暮らしを守る」は、市民一人ひとりが安全に安心して暮らすことができる環境を確保することを示しています。

暮らしを豊かにする

「暮らしを豊かにする」は、安全・安心な暮らしの確保を前提とした上で、市民一人ひとりが生きがいを持ち、家族や地域とのふれあいや、絆を通して、心豊かにゆとりある暮らしを実現することができる環境を確保していくことを示しています。

暮らしを未来につなぐ

「暮らしを未来につなぐ」は、これまで先人たちが築き上げてきた本市のまちの財産（環境、人、文化など）を大切に受け継ぎ、守り、育てていくことを通して、未来の市民が安全で心豊かに暮らせるよう、次代につながる持続性のあるまちづくりを進めていくことを示しています。

2 小牧市総合計画審議会諮問

25小市政第223号
平成25年9月2日

小牧市総合計画審議会
会長 宮脇 淳 様

小牧市長 山下 史 守 朗

第6次小牧市総合計画新基本計画（案）について（諮問）
小牧市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、第6次小牧市総合計画新基本計画（案）について、貴審議会の意見を求めます。

3 小牧市総合計画審議会答申

平成26年1月28日

小牧市長 山下史守朗様

小牧市総合計画審議会
会長 宮脇 淳

第6次小牧市総合計画新基本計画について（答申）

平成25年9月2日付け25小市政第223号で諮問のありました第6次小牧市総合計画新基本計画（案）について、これまで7回にわたる会議を開催し、基本計画の策定に関する事項について検討を重ねてまいりました。

これまでの提言は、貴市でご検討いただき、新基本計画（案）に反映されてきております。計画の決定にあたりましても、本審議会の提言を十分に尊重していただくようお願いし、ここに第6次小牧市総合計画新基本計画（案）を別添のとおり答申いたします。

小牧市総合計画審議会からの付帯意見

- ・小牧市として本総合計画のPDCAサイクルを担保し、議会や市民との進捗状況の共有を図るため、アンケート内容等の客観性の充実に努めて頂きたい。

4 小牧市総合計画審議会条例

昭和38年12月17日

条例第37号

改正 平成10年12月24日条例第25号

平成20年3月27日条例第1号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）
第138条の4第3項の規定に基づき、小牧市総合計画審議
会の設置及び運営に関する事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 市長の諮問に応じ、市の総合計画に関し必要な調査及
び審議を行わせるため、小牧市総合計画審議会（以下「審議
会」という。）を置く。

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 市の行政委員会の委員
- (2) 市の区域内の公共的団体の役員及び職員
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 市内に在住し、在勤し、又は在学する者で、市のまち
づくりに関心のあるもの
- (5) その他市長が特に必要と認める者

(会長)

第4条 審議会に会長を置き、委員の互選によつてこれを定め
る。

2 会長は、会務を総理する。

- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指定した委員が、会長の職務を代理する。

(委員)

第 5 条 委員の任期は、1 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第 6 条 審議会の会議は、会長が招集する。

- 2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第 7 条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 小牧市新市建設審議会条例（昭和 33 年小牧市条例第 5 号）は、廃止する。

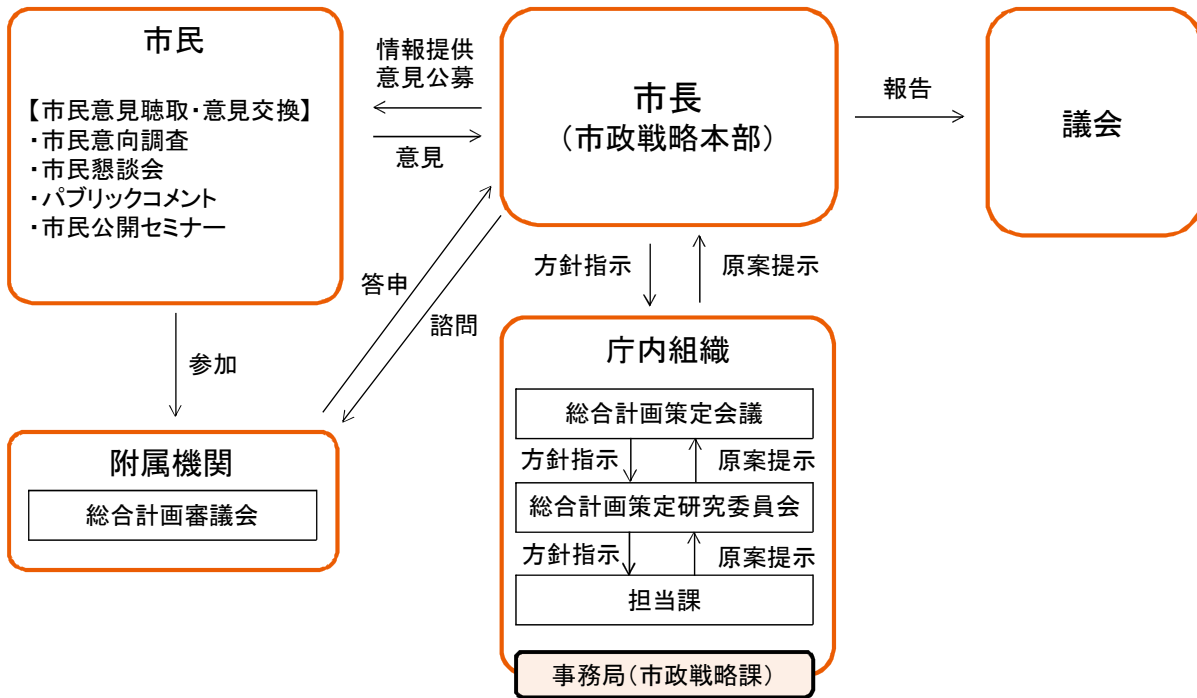
附 則（平成 10 年条例第 25 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 20 年条例第 1 号）

この条例は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

5 策定体制



<名簿>

①総合計画審議会

委員構成	氏名	団体名・役職名	備考
市の行政委員会の委員	伊藤 敬一	小牧市教育委員会委員	
市の区域内の公共的団体の役員及び職員	稲垣喜久治	(社福) 小牧市社会福祉協議会 会長	
	岡本 憲明	連合愛知尾張中地域協議会 副代表	
	落合 勝之	小牧市区長会 連合副会長	
	関戸美恵子	小牧市小中学校 PTA 連絡協議会 母親委員長	
	中野 康孝	(一社) 小牧青年会議所 理事長	
	林 和子	小牧市女性の会 副会長	
	速水 昭典	小牧商工会議所 専務理事	
	室井 勝吉	(特非) こまき市民活動ネットワーク 副代表理事	
学識経験を有する者	後藤 久貴	公認会計士	
	白鳥 洋子	名古屋造形大学造形学部准教授	
	萩原 聡央	名古屋経済大学法学部准教授	会長職務代理
	宮脇 淳	北海道大学公共政策大学院教授	会長
市内に在住し、在勤し又は在学する者で、市のまちづくりに関心のあるもの	上坂 敏夫	行政改革推進委員会委員	
	長田 稔公	行政改革推進委員会委員	
	安藤 里恵	一般公募者	
	原 正行	一般公募者	
	坂東 益子	一般公募者	
	肥田野良政	一般公募者	
	船橋 智子	一般公募者	

②小牧市総合計画審議会委員 部会構成

◎は部会長

部会名	氏名	団体名・役職名
安全・環境 産業・交流 都市基盤	上坂 敏夫	行政改革推進委員会委員
	岡本 憲明	連合愛知尾張中地域協議会 副代表
	落合 勝之	小牧市区長会 連合会副会長
	◎後藤 久貴	公認会計士
	白鳥 洋子	名古屋造形大学造形学部准教授
	中野 康孝	(一社) 小牧青年会議所 理事長
	原 正行	一般公募者
	速水 昭典	小牧市商工会議所 専務理事
	室井 勝吉	(特非) こまき市民活動ネットワーク 副代表理事
保健・福祉 教育・子育て 文化・スポーツ	安藤 里恵	一般公募者
	伊藤 敬一	小牧市教育委員会委員
	稲垣喜久治	(社福) 小牧市社会福祉協議会 会長
	長田 稔公	行政改革推進委員会委員
	関戸美恵子	小牧市小中学校 PTA 連絡協議会 母親委員長
	◎萩原 聡央	名古屋経済大学法学部准教授
	林 和子	小牧市女性の会 副会長
	坂東 益子	一般公募者
	肥田野良政	一般公募者
	船橋 智子	一般公募者

③総合計画策定会議

平成 24 年度	
職名	氏名
副市長	尾関 龍彦
副市長	樋口 民雄
教育長	江口 光広
市長公室長	松岡 和宏
総務部長	秋田 高宏
市民産業部長	舟橋 毅
健康福祉部長	舟橋 武仁
環境交通部長	柴田 和則
都市建設部長	江口 秀和
上下水道部長	長瀬 孝
市民病院事務局長	林 由紀宏
会計管理者	板津 浩平
教育部長	中嶋 隆
議会事務局長	宮田 一正
監査委員事務局長	今枝 博実
消防長	櫻井 昌典
小牧岩倉衛生組合事務局長	志村 優範

平成 25 年度	
職名	氏名
副市長	沖本 一治
教育長	安藤 和憲
市長公室長	松岡 和宏
総務部長	伊木 利彦
市民産業部長	舟橋 毅
健康福祉部長	舟橋 武仁
環境交通部長	倉地 浩司
都市建設部長	江口 秀和
上下水道部長	長瀬 孝
市民病院事務局長	林 由紀宏
会計管理者	板津 浩平
教育部長	中嶋 隆
議会事務局長	宮田 一正
監査委員事務局長	大野 成尚
消防長	丹羽 俊治
小牧岩倉衛生組合事務局長	志村 優範

④総合計画策定研究委員会
平成24年度

課名	職名	氏名
市長公室	市政戦略課	係長 矢本 博士
	秘書広報課	主任 松浦 一将
	人事課	課長補佐 駒瀬 勝利
	協働推進課	課長補佐 石川 徹
	危機管理課	主査 松浦 達志
総務部	総務課	主査 中島 真紀
	契約検査課	主査 松浦 善行
	情報システム課	課長補佐 長縄 靖
	財政課	主査 白木 栄理
	市民税課	課長補佐 泉 重雄
	資産税課	主事 古田麻紀子
	収税課	課長補佐 鈴木 俊樹
市民産業部	生活交流課	主査 丸藤 卓也
	市民課	係長 浅野 秀和
	農政課	係長 小笠原浩二
	商工観光課	課長補佐 松浦 智明
健康福祉部	福祉課	課長補佐 江口 幸全
	長寿介護課	課長補佐 野口 弘美
	子育て支援課	課長補佐 平岡 麗子
	保健センター	係長 岡本 弥生
	保険年金課	主任 澤尻 洋平
環境交通部	環境対策課	係長 水野 芳広
	廃棄物対策課	課長補佐 川尻 卓哉
	リサイクルプラザ	所長補佐 長田 義法
	交通防犯課	課長補佐 落合 健一
消防本部	消防総務課	主事 青山 聡
	予防課	主事 小西 紀彰

課名	職名	氏名
都市建設部	道路課	係長 矢澤 浩司
	河川課	係長 長坂 裕
	建築課	係長 水野 知広
	用地課	課長補佐 長谷川隆司
	都市政策課	課長 鵜飼 達市
	みどり公園課	係長 早稲田 宏
	区画整理課	主査 杉山 英之
上下水道部	料金課	主査 福光 陽子
	水道課	主事 志村 裕貴
	下水道課	主事 杉田 康明
市民病院事務局	病院総務課	主事 松浦 衣子
	医事課	係長 佐久間 修
	健診センター	所長 須崎 弘子
	医療安全管理室	副主任 加藤 吉宏
教育委員会事務局	教育総務課	課長補佐 大野 将嗣
	学校給食課	係長 今枝 典子
	学校教育課	係長 圓山恵利子
	生涯学習課	課長 高木 大作
	まなび創造館	係長 坪井 麻紀
	味噌市民センター	係長 社本 里美
	東部市民センター	係長 橋本 典子
	北里市民センター	係長 岩田奈穂美
	文化振興課	係長 長谷川潤治
	スポーツ推進課	主事 吉田 祐将
図書館	図書館	主任 花里千賀子
	議事課	係長 松宮 克哉
	会計課	主査 野田 有子
	選挙管理委員会事務局	主査 佐野 友治
監査委員事務局		主事 山下 康浩

平成 25 年度

	課 名	職 名	氏 名
市長公室	市政戦略課	係長	矢本 博士
	秘書広報課	主査	松浦 一将
	人事課	課長補佐	駒瀬 勝利
	協働推進課	課長補佐	伊藤加代子
	危機管理課	主査	松浦 達志
総務部	総務課	主事	溝畑 絵理
	契約検査課	主査	林 孝政
	情報システム課	課長補佐	長縄 靖
	財政課	主事	若林 剛
	市民税課	課長補佐	泉 重雄
	資産税課	課長補佐	長谷川隆司
	収税課	主事	日比野 豊
	収納対策室	主事	堀 誠治
市民産業部	生活交流課	主査	丸藤 卓也
	市民課	係長	浅野 秀和
	農政課	係長	小笠原浩二
	商工観光課	課長補佐	竹内 隆正
	小牧山城 450 年プロジェクト推進室	主事	川副 裕史
健康福祉部	福祉課	課長補佐	江口 幸全
	長寿介護課	課長補佐	山本 格史
	子育て支援課	係長	中野 伸一
	保健センター	係長	岡本 弥生
	保険年金課	主査	澤尻 洋平
環境交通部	環境対策課	主事	朝日 陽一
	廃棄物対策課	課長補佐	川尻 卓哉
	リサイクルプラザ	所長補佐	長田 義法
	交通防犯課	課長補佐	落合 健一
消防本部	消防総務課	課長補佐	佐藤 圭一
	予防課	主任	小西 紀彰

	課 名	職 名	氏 名
都市建設部	道路課	主査	三原 克之
	河川課	係長	長坂 裕
	建築課	係長	水野 知広
	用地課	係長	竹田 孝一
	都市政策課	主査	大澤 正人
	みどり公園課	主査	清水 靖史
	区画整理課	主査	酒井 哲亮
上下水道部	料金課	主査	福光 陽子
	水道課	主事	志村 裕貴
	下水道課	係長	矢澤 浩司
市民病院事務局	病院総務課	主事	河村 俊之
	医事課	課長補佐	佐久間 修
	健診センター	係長	丸田 強士
	医療安全管理室	副主任	河村 昌二
教育委員会事務局	地域連携室	副主任	勝山 貴之
	教育総務課	係長	白木 栄理
	学校給食課	係長	今枝 典子
	学校教育課	係長	圓山恵利子
	生涯学習課	課長補佐	岩本 淳
	まなび創造館	係長	坪井 麻紀
	味岡市民センター	係長	社本 里美
	東部市民センター	主事	高橋 忍
	北里市民センター	係長	岩田奈穂美
	文化振興課	係長	浅野 友昭
	スポーツ推進課	主事	吉田 祐将
	図書館	主任	花里千賀子
	議事課	係長	松宮 克哉
	会計課	主査	野田 有子
	選挙管理委員会事務局	係長	佐野 友治
	監査委員事務局	主任	山下 康浩

序

章

第 I 章

第 II 章

第 III 章

資料編

⑤総合計画策定事務局

平成 24 年度	
市長公室長	松岡 和宏
市長公室次長	大野 成尚
市政戦略課長	小塚 智也
市政戦略課長補佐	舟橋 知生
市政戦略係長	舟橋 朋昭
市政戦略係主査	石田 哲也
市政戦略係主事	森本 雅彦
市政戦略係主事	岩下 貴洋
市政戦略係主事	小林 夕記

平成 25 年度	
市長公室長	松岡 和宏
市長公室次長	小塚 智也
市政戦略課長	鵜飼 達市
市政戦略係長	舟橋 朋昭
市政戦略係主査	石田 哲也
市政戦略係主事	森本 雅彦
市政戦略係主事	丹羽 隆人
市政戦略係主事	小林 夕記

6 策定経緯

年 月 日	内 容
【平成 24 年度】	
平成 24 年 7 月 14 日	「第 6 次小牧市総合計画新基本計画の策定に係る基本方針」決定
7 月 23 日 ～ 8 月 6 日	まちづくりに関する市民意向調査実施 (回収数 1,189 人 回収率 39.6%)
8 月 28 日	自治体経営改革市民公開セミナー開催 講師：北海道大学公共政策大学院 教授 宮脇淳
9 月 18 日	庁内組織「策定研究委員会」設置
10 月上旬～	新基本計画策定に係る基礎調査 (分野別の現状調査・分析) の実施
10 月 14 日、16 日、 19 日、23 日	タウンミーティング「明日のこまきまちづくり懇談会」 開催（市内 4 会場）
10 月 16 日	第 1 回策定研究委員会開催 ・新基本計画の策定に係る基本方針及び今後のスケジュールについて ・研修「自治体経営の問題点・課題と目指すべき理想像について」
11 月 20 日	庁内組織「策定会議」設置 第 1 回策定会議開催 ・新基本計画策定に係る基本方針及び今後のスケジュールについて
11 月 22 日	第 2 回策定研究委員会開催 ・分野別 WG の部会の構成について ・研修「分野別 WG の進め方について」
平成 25 年 2 月～	策定研究委員会による先進地視察
平成 25 年 3 月 7 日	第 3 回策定研究委員会開催 ・研修「新基本計画の策定に向けた「施策の棚卸し」について」
3 月～	第 6 次総合計画の棚卸し (各基本施策の取組み内容から課題等の抽出)
3 月 22 日	第 2 回策定会議開催 ・平成 24 年度検討結果について

年 月 日	内 容
【平成 25 年度】	
平成 25 年 6 月 7 日	第 4 回策定研究委員会開催 ・研修「新基本計画の策定に向けて（基本施策の展開方向・成果指標の設定）」
7 月 16 日	第 3 回策定会議開催 ・新基本計画骨子について
8 月 18 日、20 日	「新基本計画」策定に係る市民懇談会の開催 (市内 2 会場)
8 月 20 日	第 4 回策定会議開催 ・小牧市総合計画審議会について
9 月 2 日	第 1 回審議会開催 ・諮問、新基本計画（案）・今後の進め方について
10 月 1 日	第 5 回策定会議開催 ・新基本計画（案）について
10 月 4 日	第 2 回審議会開催（部会審議） ・第 1 部会（安全・環境、産業・交流） ・第 2 部会（教育・子育て、文化・スポーツ）
10 月 21 日	第 6 回策定会議開催 ・新基本計画（案）について
10 月 22 日	第 3 回審議会開催（部会審議） ・第 1 部会（都市整備） ・第 2 部会（保健・福祉）
11 月 8 日	第 4 回審議会開催 ・部会の検討内容、自治体経営について
11 月 15 日	第 5 回審議会開催 ・市政戦略編、自治体経営について
11 月 27 日	議会（第 6 次小牧市総合計画新基本計画検討会議）より意見の提出
12 月 2 日	第 6 回審議会開催 ・市政戦略編、自治体経営、市議会からの意見、パブリックコメントについて
12 月 16 日～ 平成 26 年 1 月 14 日	パブリックコメント実施 ・意見提出者 2 名（24 件）
平成 26 年 1 月 28 日	第 7 回審議会開催 ・パブリックコメント実施結果、答申
2 月 12 日	新基本計画策定

7 進捗状況を測定するための指標一覧

＜市政戦略編＞

都市ヴィジョン1 『こども夢・チャレンジ No. 1 都市』			
戦略1 こどもの夢を育み、夢へのチャレンジをみんなで応援するプログラムの展開			
重点事業1-1 (仮称) 地域こども子育て条例の制定			
指標の設定なし			
重点事業1-2 夢・チャレンジ応援制度の創設			
指標		基準値	目標値 (H30 年度)
基金に積み立てられた寄付金額*		—	—
重点事業1-3 夢を育む環境の創出			
指標		基準値	目標値 (H30 年度)
夢育み事業に参加したこどもの数		—	2,600 人
都市ヴィジョン2 『元気創造都市』			
戦略2 次世代成長産業を含むバランスの良い産業集積の形成			
重点事業2-1 企業立地の推進			
指標		基準値	目標値 (H30 年度)
次世代成長産業分野に属する新規企業の累計数		0 件	3 件
都市ヴィジョン3 『支え合い共生都市』			
戦略3 在宅医療・介護、見守り体制の構築			
重点事業3-1 在宅医療の推進			
指標		基準値	目標値 (H30 年度)
在宅で医療を受けている市民の数		286 人 (H25 年度)	480 人
在宅で看取りを受けた市民の数		—	200 人
都市ヴィジョン2 と都市ヴィジョン3 の関係について			
戦略4 “元気”と“支え合い”の地域循環による「都市の活力」と「暮らしの安心」の創造			
重点事業4-1 (仮称) ありがとう地域ポイント制度の創設			
指標		基準値	目標値 (H30 年度)
1 年間に地域活動ポイントを受け取った人の数*		—	—
重点事業4-2 市内限定商品券の流通拡大			
指標		基準値	目標値 (H30 年度)
市内でプレミアム商品券が使える店舗数		588 店	633 店
重点事業4-3 地域協議会の設立による地域活動の活性化			
指標		基準値	目標値 (H30 年度)
地域協議会が組織された数		—	16 組織

※：目標値は制度設計中のため「—」。制度創設後に設定します。

＜分野別計画編＞

〔市 民〕：18 歳以上の市民 3,000 人無作為抽出による市民意識調査
 〔こども〕：市内小学 5 年生、中学 2 年生全員を対象とした市民意識調査

基本施策1 防災

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 年前と比較して災害に強いまちと思う市民の割合		%	49.0	↗	【市民】 「小牧市は「1 年前と比較して災害に強いまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	危機管理課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 防災意識を高めます	災害への備えをしている市民の割合	%	44.7	↗	【市民】 「あなたは、日頃から地震や風水害などの備えをしていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	危機管理課
	避難所・避難場所を知っている市民の割合	%	71.9	↗	【市民】 「あなたは、災害時に自分が避難する避難所・避難場所を知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	危機管理課
2 災害発生時に迅速に対応できる体制を強化します	小牧市と災害時応援協定を締結した市町村および民間事業者の数	件	216	↗	災害発生時における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について、小牧市と協定を締結した市町村および民間事業者の数	危機管理課
	初動マニュアル研修において、研修内容を理解した職員の数	人	—	↗	初動マニュアル研修において、研修内容を理解した職員の数	危機管理課

基本施策2 生活安全

指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
犯罪発生率	件/千人	14.9 (H24年)	↘	人口 1 千人あたりの刑法犯認知件数(小牧警察署資料) (暦年)	市民安全課
交通事故発生率	件/千人	7.3 (H24年)	↘	人口 1 千人あたりの交通事故(人身)の発生件数(小牧警察署資料) (暦年)	市民安全課
相談満足度	%	—	↗	相談に訪れた市民のうち、「相談を受け満足した」と回答した市民の割合	市民安全課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 防犯意識を高め ます	防犯に対する備えをしている市民の割合	%	38.5	↗	【市民】 「あなたは、日頃から防犯に対する備えをしていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	市民安全課
	防犯教室の参加者数	人	501	↗	警察と連携開催した防犯教室への参加者数	市民安全課
2 交通安全意識と交通マナーを 高めます	交通マナーを守って生活している市民の割合	%	85.7	↗	【市民】 「あなた自身、市内道路を自動車運転時、自転車運転時または歩行時などに、自分は交通マナーが良いと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	市民安全課
	啓発事業参加者数	人	4,249	↗	警察と連携開催した交通安全教室への参加者数	市民安全課
3 相談体制を充実 します	相談によって不安が解消された市民の割合	%	—	↗	相談に訪れた市民のうち、「相談によって不安が解消された」と回答した市民の割合	市民安全課
	相談件数	件	—	↗	相談に訪れた市民の数	市民安全課

基本施策3 消防・救急

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
火災による死亡者数		人	3 (H24年)	↘	火災による死亡者の数（暦年）	消防本部
出火率		件/万人	4.7 (H24年)	↘	人口1万人あたりの出火件数（暦年）	消防本部
救命率		%	40.0 (H24年)	↗	救命された人の割合（暦年）	消防本部
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 消防・救急体制を強化します	建物火災1件あたりの焼損面積	m ²	65 (H24年)	↘	建物焼損床面積の合計（暦年）/建物火災件数（暦年）	消防本部
	火災1件あたりの損害額	千円	3,120 (H24年)	↘	損害額の合計（暦年）/火災件数（暦年）	消防本部
	心肺停止傷病者の付近に居合わせた人による応急手当実施率	%	64.8 (H24年)	↗	心肺停止傷病者の付近に居合わせた人による応急手当実施率（暦年）	消防本部
	消防団員の教育訓練等受講者数	人	6	↗	消防団員の教育訓練等の受講者数	消防本部

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
2 火災予防対策を充実します	住宅用火災警報器の設置率	%	73.2	↗	【市民】 「あなたが住まいの住宅には、「住宅用火災警報器」が設置されていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	消防本部
	日頃から火災を予防する取組みを行っている市民の割合	%	88.4	↗	【市民】 「あなたは、日頃から火災を予防する取組みを行っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	消防本部
3 自主防災会活動を活性化します	防災活動を行っている自主防災会などの組織数	組織	78	↗	防災活動を行っている自主防災会などの組織数	消防本部
	消防団が参加した自主防災活動実施組織数	組織	58	↗	消防団が参加した自主防災活動実施組織数	消防本部
	他区と連携して防災活動を行った組織数	組織	26	↗	他区と連携して防災活動を行った組織数	消防本部

基本施策4 環境

指標		単位	基準値	目指す 方向性	指標の説明	担当課
市内の電力消費量		MW h	1,638,668	↘	市内における電力販売量	環境対策課
需要戸数あたりの都市ガス消費量		m³/戸	405	↘	市内の家庭用に供給した都市ガス 量／需要戸数	環境対策課
市内環境指標項目の環境基準達成 率		%	大気66.7 水質100 土壌100 騒音100	大気↗ 水質100 土壌100 騒音100	大気3項目、水質1地点、土壌3 地点、騒音4地点の環境基準の達 成率	環境対策課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す 方向性	指標の説明	担当課
1 環境意 識を高め ます	日頃から環境にやさしい取 組みを心掛けている市民の 割合	%	80.7	↗	【市民】 「あなたは、日頃から身近な環境 にやさしい取組みを心掛けていま すか？」という問いに「はい」と 回答した市民の割合	環境対策課
	日頃から環境にやさしい取 組みを心掛けているこども の割合	%	78.1	↗	【こども】 「あなたは、日ごろからごみの分 別やりサイクルをしたり、電気や 水を節約することを心がけていま すか？」という問いに「心がけて いる」と回答したこどもの割合	環境対策課
2 市が率 先して省 エネル ギー対 策・新エ ネルギー の利活用 を推進し ます	公共施設のエネルギー消費 量	kl	13,275.6	↘	市所有の全ての公共施設で消費さ れる原油換算したエネルギーの消 費量（省エネ法に準拠）	環境対策課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
3 市民の新エネルギーの導入を支援します	太陽光発電システムの普及基数	基	1,561	↗	市の補助を受け、設置された住宅用太陽光発電システムの基数	環境対策課
4 良好な地域環境の保全活動を推進します	河川のBOD平均値	mg/L	2.7	↘	市内河川37地点の平均値	環境対策課

基本施策5 ごみ対策

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1人1日あたりのごみ排出量（事業系ごみ含む）		g	838	↘	1人1日あたりの市内から排出される家庭系ごみ、事業系ごみの排出量	廃棄物対策課
不法投棄されたごみの環境センターへの搬入量		kg	60,420	↘	市有地へ不法投棄されたごみの回収量	廃棄物対策課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 市民・事業者・行政の協働による3Rを推進します	再資源化率	%	26.2	↗	ごみの総排出量に対する資源化量の割合	廃棄物対策課
	事業系ごみの年間排出量	t	12,722	↘	事業系ごみの年間排出量	廃棄物対策課
2 ごみの減量・分別に対する市民の意識を高めます	家庭系ごみの1人1日あたりの排出量（資源を除く）	g	454	↘	1人1日あたりの家庭系ごみのうち、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの排出量	廃棄物対策課
3 地域の環境美化活動を推進します	ポイ捨てがないきれいなまちと思う市民の割合	%	46.2	↗	【市民】 「小牧市は「ポイ捨てがないきれいなまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	廃棄物対策課
	クリーンアップ事業年間参加者数	人	69,936	↗	10人以上で構成された団体によるクリーンアップ活動や地区の大掃除等の清掃活動への参加者数	廃棄物対策課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
4 ごみの安定処理を推進します	焼却施設における可燃ごみの年間処理量	t	35,623	↘	焼却施設における可燃ごみの年間処理量 ※平成27年4月の新焼却施設稼働に伴い、可燃ごみの分別品目の変更を検討中	廃棄物対策課
	し尿処理施設における年間処理量	kl	21,047	↘	し尿処理施設における年間処理量	廃棄物対策課
	資源回収量	t	10,974	↗	市の収集や集団回収で回収される資源ごみ等の総量	廃棄物対策課

基本施策6 健康づくり

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
健康寿命		歳	男性79.05 女性83.33 (H22年度)	↗	人口、年齢別人口、年齢別死亡数、年齢別要介護2～5の認定者数より算出 (健康寿命の算出方法の指針に基づき算出)	保健センター
健康づくりに取り組んでいる市民の割合		%	74.3	↗	【市民】 「あなたは、日頃から健康づくりに取り組んでいますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	保健センター
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します	早世(壮年期死亡率)	%	2.74 (H23年度)	↘	40～64歳の死亡数 (愛知県衛生年報第10表/40～64歳人口)	保健センター
	生活習慣の改善にすでに取り組んでいる市民および今後改善してみようと思っている市民の割合	%	66.6	↗	「運動や食生活などの生活習慣を改善してみようと思いますか？」という問いに「改善するつもりはない」以外を回答した市民の割合	保健センター
	胃がん健診(集団・個別)の受診率(男女平均)	%	19.5	↗	受診者数/(人口ー(就業者数ー農林水産業従事者数)) ※40歳以上	保健センター
	大腸がん健診(集団・個別)の受診率(男女平均)	%	28.8	↗	受診者数/(人口ー(就業者数ー農林水産業従事者数)) ※40歳以上	保健センター
	子宮がん健診(集団・個別)の受診率	%	8.6	↗	受診者数/(人口ー(就業者数ー農林水産業従事者数)) ※20歳以上	保健センター
	乳がん健診(集団)の受診率	%	10.3	↗	受診者数/(人口ー(就業者数ー農林水産業従事者数)) ※40歳以上	保健センター

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
2 親子が健やかに育み合うことを支援します	保健連絡員などが主体的に計画する健康教室等の回数	回	93	↗	保健連絡員などが主体的に計画する健康教室等の回数	保健センター
	保健連絡員などが主体的に計画する健康教室等の延べ参加者数	人	3,214	↗	保健連絡員などが主体的に計画する健康教室等の延べ参加者数	保健センター
	自分自身を好きと言える市民の割合	%	76.7	↗	【市民】 「あなたは「いやな面もあるが、そんな自分も含めて今の自分を好き」といえますか？」という問いに「好き」、「どちらかといえば好き」と回答した市民の割合	保健センター
	乳幼児健診受診率	%	96.3	↗	4か月児、1歳6か月児、3歳児健診の平均受診率	保健センター
	ゆったりとした気持ちで育児できている保護者の割合	%	78.9 (H24年度)	↗	乳幼児健診において、「ゆったりとした気分で子と過ごせるか」という問いに「はい」と回答した保護者の割合	保健センター
	相談相手がいる保護者の割合	%	95.9 (H24年度)	↗	乳幼児健診において、「子育ての相談相手がいるか」という問いに「はい」と回答した保護者の割合	保健センター
	自分自身を好きと言えるこどもの割合	%	70.7	↗	【こども】 「いやな面もあるが、そんな自分も含めて今の自分を好きといえますか？」という問いに「好き」、「どちらかといえば好き」と回答した市民の割合	保健センター

基本施策7 地域医療

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
市内の医療体制に満足している市民の割合		%	70.7	↗	【市民】 「市内の医療体制に満足している、または頼りになると思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	保健センター
市民病院の地域連携登録医療機関の数		箇所	484	↗	市民病院の地域連携登録医療機関の数	市民病院
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 在宅医療を推進します	往診や訪問診療を行う市内医療機関などの数（医科・歯科・薬科）	箇所	36 (H25年度)	↗	往診や訪問診療を行う市内の医療機関などの数	地域福祉課
	多職種による研修会の開催回数	回	1	↗	多職種を対象にした研修会の開催回数	地域福祉課
	訪問看護を利用している高齢者の数	人	2,770	↗	訪問看護を利用している高齢者の数	地域福祉課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
2 市民病院を充実します	紹介率	%	45.9	↗	他の医療機関からの紹介により市民病院を受診した患者の割合	市民病院
	逆紹介率	%	55.2	↗	市民病院から他の医療機関を紹介した患者の割合	市民病院
	市民病院職員数	人	744	↗	市民病院の職員数	市民病院
	市民病院の市民満足度	%	66.7	↗	【市民】 「市民病院」に満足している、または頼りになると思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	市民病院
3 休日急病診療体制を充実します	日曜日や祝日などの休日に受診できる市内診療所数（医科・歯科）	箇所	13	↗	日曜日や祝日などの休日に受診できる市内の診療所数	保健センター
	休日急病診療所における急患数（医科）の割合	%	81.2	↗	急患数/総患者数	保健センター

基本施策8 高齢者福祉

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
介護や支援を必要としていない高齢者の割合		%	88.8	↗	要介護認定を受けていない65歳以上の被保険者の割合	介護保険課
生きがいを持って生活している高齢者の割合		%	81.8	↗	【市民】 「あなたは、生きがいをもって生活していますか？」という問いに「はい」と回答した高齢者の割合	地域福祉課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 高齢者の社会参加と生きがいを支援します	シルバー人材センター会員の就業率	%	81.4	↗	シルバー人材センター会員のうち、就業した会員数/シルバー人材センター会員数	地域福祉課
	地域活動やボランティア活動に積極的に参加している高齢者の割合	%	26.6	↗	【市民】 「あなたは、日頃から地域での活動やボランティアに積極的に参加していますか？」という問いに「はい」と回答した高齢者の割合	地域福祉課
	生涯学習やスポーツ活動などに積極的に参加している高齢者の割合	%	32.2	↗	【市民】 「あなたは、日頃から生涯学習やスポーツ（運動）などに積極的に参加していますか？」という問いに「はい」と回答した高齢者の割合	地域福祉課
2 高齢者の在宅生活を支援します	介護予防事業参加者数	人	164	↗	介護予防事業の参加者数	地域福祉課
	地域包括支援センターの利用者の割合	%	9	↗	65歳以上の高齢者のうち、市内4箇所の地域包括支援センターを利用した人の割合	地域福祉課
	認知症見守りネットワーク会員数	人	904	↗	認知症見守りネットワークに登録している会員数	地域福祉課
	認知症サポーター養成講座受講者数	人	6,304	↗	認知症サポーター養成講座を受講した人の数	地域福祉課

基本施策9 障がい者(児)福祉

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
平成24年度以降に施設入所から地域へ生活の場を移した市民の数(累計)		人	0	↗	小牧市の支給決定者のうち、施設入所から地域へ生活の場を移した市民の数	地域福祉課
グループホーム利用者数		人	31	↗	小牧市の支給決定者のうち、グループホーム利用者の数	地域福祉課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 相談支援体制を整備します	相談の件数	件	6,695	↗	市内の相談支援事業所への相談件数	地域福祉課
	相談支援専門員の数	人	9	↗	市内の相談支援専門員の数	地域福祉課
2 自立に向けた就労・社会参加を支援します	民間企業における障がい者の雇用率(ハローワーク春日井管内)	%	1.8	↗	ハローワーク春日井管内での民間企業における障がい者の雇用率	地域福祉課
	小牧市雇用促進奨励金支給企業数	社	34	↗	小牧市雇用促進奨励金を支給している企業の数	地域福祉課
	小牧市雇用促進奨励金支給対象者数	人	59	↗	小牧市雇用促進奨励金を支給している市民の数	地域福祉課
3 障害福祉サービスなどを充実します	障害者支援施設などへの物品等の発注数	件	12	↗	市役所が市内の障害者支援施設などへ物品等を発注した数	地域福祉課
	あさひ学園利用者の満足度	%	—	↗	あさひ学園に満足している利用者の割合	地域福祉課
	訪問系サービスの利用者数	人	209	↗	障がい福祉サービスのうち、訪問系サービス(居宅介護など)を利用している市民の数	地域福祉課
	日中活動系サービスの利用者数	人	372	↗	障がい福祉サービスのうち、日中活動系サービス(生活介護、就労支援など)を利用している市民の数	地域福祉課

基本施策10 地域福祉

指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
地域福祉活動に参加している市民の割合	%	15.9	↗	【市民】 「あなたは、この1年間に地域での福祉活動に参加したことがありますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	福祉総務課
地域で支え合って安心して暮らしている市民の割合	%	61.1	↗	【市民】 「小牧市は「地域で支え合って安心して暮らせるまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	福祉総務課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 地域福祉活動に参加する担い手を育成・確保します	ボランティアセンターへの相談件数	件	—	↗	社会福祉法人小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターへのボランティアに関する相談件数	福祉総務課
	ボランティアセンター登録者数	人	4,829	↗	社会福祉法人小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターへの登録者数	福祉総務課
2 地域福祉活動を普及・拡大するための仕組みを整えます	地域福祉推進基礎組織の設立数	団体	0	↗	小学校区を単位とした地域福祉推進基礎組織が設立された数	福祉総務課
	災害時要支援者台帳の登録者数	人	924	↗	災害時要支援者台帳へ登録している市民の数	福祉総務課
3 地域福祉活動団体などを支援します	ふれあい・いきいきサロンの数	団体	22	↗	ふれあい・いきいきサロンを開催している団体数	福祉総務課
	ふれあいセンターの利用者数	人	35,880	↗	総合福祉施設ふれあいセンターの年間利用者数	福祉総務課

基本施策11 保険・福祉医療

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
国民健康保険税収納率（現年）		%	89.6	↗	国民健康保険税の調定額に占める収入額の割合 ※現年度分決算数値	保険年金課
国民健康保険の被保険者１人あたりの保険給付費		円	227,114	↘	国民健康保険の被保険者１人あたりの保険給付費	保険年金課
介護保険料収納率（現年）		%	98.8	↗	介護保険料の調定額に占める収入額の割合 ※現年度分決算数値	介護保険課
介護保険の第１号被保険者１人あたりの保険給付費		円	174,483	↘	介護保険の第1号被保険者１人あたりの保険給付費	介護保険課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 健全な国民健康保険・後期高齢者医療制度を運営します	国民健康保険税口座振替加入率	%	49.3	↗	国民健康保険税の納税者に占める口座振替加入者の割合 ※特別徴収を除く	保険年金課
	特定健診受診率	%	41.9	↗	国民健康保険特定健診対象者に占める受診者の割合 ※法定報告値	保険年金課
2 健全な介護保険制度を運営します	介護職員研修受講者数	人	69	↗	市が実施する介護職員研修を受講した人の数	介護保険課
	介護保険サービスの満足度	%	—	↗	高齢者保健福祉計画での調査による、介護保険サービスに満足している市民の割合	介護保険課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
3 福祉医療を充実します	子ども医療1人あたりの助成額	円	33,327	↘	子ども医療における1人あたりの助成額	保険年金課
	子ども医療加入率	%	96.2	↗	中学生以下のこどものうち、子ども医療受給者証が交付されている割合 ※生活保護世帯を除く	保険年金課
	こども、障がいのある人、母子・父子家庭、ひとり暮らし高齢者などに対して公費医療負担制度があることを知っている市民の割合	%	62.0	↗	【市民】 「あなたは、子ども、障がい者、母子・父子家庭、ひとり暮らし高齢者などに対して保険診療の自己負担分を助成する制度があることを知っていますか？」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	保険年金課

基本施策12 学校教育

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
こどもが学校へ元気に通い、学校で楽しく過ごしていると思う保護者の割合		%	92.7 (H24年度)	↗	こどもが学校へ元気に通い、学校で楽しく過ごしていると思う保護者の割合	学校教育課
学校が楽しいと思うこどもの割合		%	89.9	↗	【こども】 「あなたは学校が楽しいですか？」という問いに「楽しい」、「どちらかといえば楽しい」と回答したこどもの割合	学校教育課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 安全で快適な教育環境を整備します	市立小・中学校の非構造部材耐震改修実施校数	校	0	↗	小牧小学校、味噌中学校を除く23校のうち、市立小・中学校の校舎・体育館などの非構造部材耐震改修済みの学校数（累計）	教育総務課
	通学路の安全対策実施率	%	20.3	↗	平成24年度に行った通学路緊急合同点検で報告された危険・要注意箇所における安全対策の実施率	教育総務課
2 安全でおいしい学校給食を提供します	給食が楽しみと思うこどもの割合	%	84.3	↗	【こども】 「あなたは給食が楽しみですか？」という問いに「楽しみ」、「どちらかといえば楽しみ」と回答したこどもの割合	学校給食課
	学校給食で地元農産物を使った日数の割合	%	15.1	↗	学校給食で地元農産物を使った日数の割合	学校給食課
3 教育力を向上し、調和のとれた人格形成を支援します	市内小中学校における不登校者のうち、登校できるようになった者および、よい変化があった者の割合	%	46.2	↗	登校できるようになった者および、よい変化があった者の数/不登校児童生徒数	学校教育課
	児童の授業理解度（小学国語）	%	81.9 (H24年度)	↗	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査において、国語の授業が理解できるかとの質問に「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童の割合	学校教育課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
3 教育力を向上し、調和のとれた人格形成を支援します	児童の授業理解度（小学算数）	%	82.7 (H24年度)	↗	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査において、算数の授業が理解できるかとの質問に「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童の割合	学校教育課
	生徒の授業理解度（中学国語）	%	74.0 (H24年度)	↗	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査において、国語の授業が理解できるかとの質問に「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」と回答した生徒の割合	学校教育課
	生徒の授業理解度（中学数学）	%	69.5 (H24年度)	↗	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査において、数学の授業が理解できるかとの質問に「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」と回答した生徒の割合	学校教育課
	都市間交流事業参加児童の保護者で「交流により、こどもが成長した」と回答した割合	%	—	↗	都市間交流事業参加児童の保護者で「交流を通して、お子さまが成長されたと思いますか？」という問いに「はい」と回答した保護者の割合	教育総務課

基本施策13 子育て支援

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
合計特殊出生率		—	1.34 (H23年度)	↗	1人の女性が一生に産む子どもの平均数	こども政策課
安心して子育てができるまちと思う市民の割合		%	59.5	↗	【市民】 「小牧市は「安心して子育てができるまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	こども政策課
これからも小牧で育っていききたいと思うこどもの割合		%	79.1	↗	【こども】 「あなたはこれからもずっと小牧に住みたいと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した児童・生徒の割合	こども政策課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 子育て家庭を支援します	児童虐待の発生件数	件	477	↘	小牧市要保護児童対策協議会実務者会における報告のべ件数	こども政策課
	放課後児童クラブの待機児童数	人	0	0	放課後児童クラブの利用を待機している児童の数	こども政策課
2 地域の子育て・子育てを支援します	児童館および子育て支援センター利用者数	人	—	↗	児童館の子育て支援室および子育て支援センターの利用者数	こども政策課
	子ども会に加入しているこどもの数	人	3,439	↗	子ども会連絡協議会に加入しているこどもの数	こども政策課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
3 保育サービス・幼児教育を充実します	保育園の待機児童数	人	27	↘	保育園に入園資格があり希望したが、入園できない児童の数	こども政策課
4 健全な青少年を地域で育てます	青少年の補導人数	人	2,152 (H25年)	↘	青少年の補導人数(暦年)	こども政策課
	中学生の地域活動への参加率	%	36.2	↗	中学校生徒数に対する地域活動参加者の割合	こども政策課

基本施策14 スポーツ

指標		単位	基準値	目指す 方向性	指標の説明	担当課
市民（成人）の週１回以上のスポーツ（運動）実施率		%	37.6	↗	【市民】 「あなたは、週に１回以上スポーツ（運動）をしていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	スポーツ推進課
体育施設の年間利用者数		人	1,518,827	↗	温水プール、勤労センターテニスコート・体育館、まなび創造館スポーツセンター、スポーツ公園運動施設、総合運動場、大輪体育館、さかき運動場、南スポーツセンター武道館・グラウンド・水泳プールの年間利用者数	スポーツ推進課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す 方向性	指標の説明	担当課
１ スポーツ活動の機会を充実します	各種スポーツ教室・講座参加者満足度	%	—	↗	「受講した教室・講座に満足している」と回答した参加者の割合	スポーツ推進課
	市民スポーツ大会などへの参加者数	人	17,121	↗	市民スポーツ大会などへの参加者数	スポーツ推進課
	各種スポーツ教室・講座への参加者数	人	2,995	↗	各種スポーツ教室・講座への参加者数	スポーツ推進課
	スポーツ振興会を知っている市民の割合	%	63.1	↗	【市民】 「あなたは、「スポーツ振興会」を知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	スポーツ推進課
	スポーツ指導者の養成講座・講習会の参加者数	人	112	↗	スポーツ指導者の養成講座・講習会の参加者数	スポーツ推進課
２ スポーツ施設を計画的に整備します	公共のスポーツ施設の利用者満足度（スポーツ公園運動施設）	%	88.9 （H24年度）	↗	公共のスポーツ施設の利用者満足度（スポーツ公園運動施設）	スポーツ推進課
	公共のスポーツ施設の利用者満足度（南スポーツセンター）	%	75.0 （H24年度）	↗	公共のスポーツ施設の利用者満足度（南スポーツセンター）	スポーツ推進課
	公共のスポーツ施設の利用者満足度（温水プール）	%	—	↗	公共のスポーツ施設の利用者満足度（温水プール）	スポーツ推進課

基本施策15 文化振興

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
日頃から文化芸術に親しんでいる市民の割合		%	49.9	↗	【市民】 「あなたは、日頃から文化・芸術に親しんでいますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	文化振興課
小牧の歴史・文化に興味・関心を持っている市民の割合		%	63.1	↗	【市民】 「あなたは、小牧市（またはお住まいの地域）の歴史や文化に興味・関心がありますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	文化振興課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 市民が文化芸術に親しめる機会を充実します	市主催の文化芸術イベントへの来場者数	人	32,331	↗	小牧市が主催する文化芸術イベントへの来場者の数	文化振興課
	来場者の満足度	%	96.2 (H24年度)	↗	来場者へのアンケートにおいて「文化芸術イベントに満足している」と回答した来場者の割合	文化振興課
2 団体の自主的な文化芸術活動を支援します	支援を行った文化芸術団体の事業参加者数	人	35,804	↗	支援を行った文化芸術団体の事業参加者数	文化振興課
	こどもまたは親子で参加する文化体験教室などの参加者数	人	300	↗	文化体験教室などに参加するこどもおよび保護者の数	文化振興課
3 小牧固有の歴史・文化遺産を保全・活用します	指定文化財の数	件	40	↗	国、県および市指定文化財の数	文化振興課
	小牧市のシンボルが小牧山と思う市民の割合	%	87.5	↗	【市民】 「小牧市のシンボルは「小牧山」であると思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	文化振興課
	歴史・文化講座の参加者数	人	1,687	↗	歴史・文化講座の参加者数	文化振興課

基本施策16 生涯学習

指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	15.7	↗	【市民】 「あなたは、この1年間に生涯学習に関する活動を行いましたか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	生涯学習課
生涯学習活動による成果を地域社会に活かしている市民の割合	%	40.2	↗	【市民】 「あなたは、生涯学習活動による成果を地域社会に活かしていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	生涯学習課

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
市民の図書館に対する満足度		%	55.4	↗	【市民】 「市の図書館に満足している、または利用したいと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	図書館
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 学習の機会を提供します	市民講座が開かれていることを知っている市民の割合	%	78.3	↗	【市民】 「あなたは、市民講座が開催されていることを知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	生涯学習課
	市民講座受講者数	人	1,947	↗	市民講座受講者数	生涯学習課
	市民講座を受講して、社会貢献活動をしてみたいと思った市民の割合	%	—	↗	市民講座を受講して、社会貢献活動をしてみたいと思った市民の割合	生涯学習課
2 学習活動を支援します	こまなびサロンを知っている市民の割合	%	24.5	↗	【市民】 「あなたは、「こまなびサロン」を知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	生涯学習課
	生涯学習に関する相談件数	件	152	↗	こまなびサロンで受けた相談件数	生涯学習課
	社会活動の支援や指導に関わってみたいと思う市民の割合	%	36.1	↗	【市民】 「あなたは、地域での活動、ボランティア、市民活動といった地域のニーズや課題に取り組むさまざまな分野の活動の、支援や指導に関わってみたいと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	生涯学習課
3 図書館サービスを充実します	市民1人あたりの図書などの年間貸出冊数	冊	7	↗	市民1人あたりの図書などの年間貸出冊数	図書館
	1年以内に図書館を訪れたことがある市民の割合	%	36.1	↗	【市民】 「あなたは、この1年間に図書館（えほん図書館、各市民センターの図書室含む）を利用したことがありますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	図書館
	おはなし会などの参加人数	人	7,375	↗	本館、えほん図書館等で開催するおはなし会などの参加者数	図書館

基本施策17 男女共同参画

指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
男女の区別なく活動できていると思う市民の割合	%	58.4	↗	【市民】 「あなたは、職場や学校、地域などで男女の区別なく活動できていると思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	まなび創造館

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
子育て・介護と仕事の両立のための支援が充実していると思う市民の割合		%	46.4	↗	【市民】 「小牧市は「子育て・介護と仕事の両立のための支援が充実しているまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	まなび創造館
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 男女共同参画意識を高めます	男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合	%	45.8	↗	【市民】 「あなたは、「男女共同参画」という言葉の意味を知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	まなび創造館
	男女共同参画をテーマとした各種講座・講演の参加者数	人	4,471	↗	男女共同参画をテーマとした各種講座・講演の参加者数	まなび創造館
2 あらゆる分野への男女共同参画を促進します	審議会等附属機関への女性の登用率	%	28.1	↗	審議会などの女性委員人数/審議会などの委員人数	まなび創造館
	ウィメンズネットこまきの加入団体数	団体	14 (H25年度)	↗	ウィメンズネットこまきの加入団体数	まなび創造館
3 男女共同参画推進体制を整備します	女性相談の窓口を知っている女性の割合	%	52.1	↗	【市民】 「あなたは、市に女性相談の窓口があることを知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民(女性)の割合	まなび創造館
	女性相談でDV相談が受けられると知っている女性の割合	%	69.7	↗	【市民】 市に女性相談の窓口があることを知っている市民(女性)のうち「あなたは、市に女性相談の窓口でDV相談が受けられることを知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民(女性)の割合	まなび創造館

基本施策18 シティプロモーション

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
小牧市の定住人口		人	153,170	H30年の推計人口を上回る	平成30年の推計人口（151,791人）は、基準値と比較し減少する予測がされているため予測を上回ることを目指す方向性としている。	市政戦略課
小牧市の交流人口		人	2,318,896 (H24年)	↗	県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光客入込数） 観光レクリエーション利用者統計（愛知県）により把握（暦年）	シティプロモーション課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 都市のブランドイメージを構築します	小牧市のブランドロゴマークおよびキャッチフレーズを知っている市民の割合	%	—	↗	「あなたは、小牧市のブランドロゴマークおよびキャッチフレーズを知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	シティプロモーション課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
2 観光推進体制を強化します	主要な観光施策・資源の利用者数	人	833,297 (H24年)	↗	市内の観光施策・資源（小牧市歴史館、小牧山さくらまつり、小牧山お月見まつり、田県神社）の利用者数（暦年）	シティプロモーション課
3 魅力あるイベント・まつりを開催します	市が主催するイベントやまつりに参加した市民のうち、満足している市民の割合	%	77.3	↗	【市民】 この1年間に市が主催するイベントやまつりに来場または参加したことがある市民のうち、「市が主催するイベントやまつりに満足している、または楽しみにしていますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	シティプロモーション課
	市が主催するイベントやまつりに満足している、または楽しみにしている市民の割合	%	56.0	↗	【市民】 「市が主催するイベントやまつりに満足している、または楽しみにしていますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	シティプロモーション課
4 中心市街地を訪れる人の数を増やします	中心市街地が賑わっていると思う市民の割合	%	27.8	↗	【市民】 「小牧市は、「中心市街地（小牧駅から市民会館前の南北道路までの周辺一体）が賑わっているまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	シティプロモーション課
	中心市街地の主要な施設の利用者数	人	316,615	↗	子育て広場、えほん図書館、まなび創造館、都市センター、ハローワーク、観光案内所の利用者数	シティプロモーション課
5 都市間交流の推進および国際感覚を醸成します	外国籍市民と地域で共に暮らしているまちと思う市民の割合	%	62.7	↗	【市民】 「小牧市は、「外国人市民と地域で共に暮らしているまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	シティプロモーション課
	国際交流事業などへの年間参加者数	人	2,014	↗	国際交流協会が実施する各種講座やイベントへの参加者数	シティプロモーション課

基本施策19 農業

指標		単位	基準値	目指す 方向性	指標の説明	担当課
農家１戸あたり生産農業販売実績額		千円	263	↗	JA尾張中央組合員１戸当たりの販売実績額	農政課
耕作放棄地の面積		ha	13	↘	耕作放棄地の面積	農政課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す 方向性	指標の説明	担当課
１ 農業経営の安定化を支援します	新規農業就業者数	人	1	↗	新規農業就業者数（累計）	農政課
	認定農業者数	人	21	↗	認定農業者数	農政課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
2 農業生産基盤の整備を推進します	かんがい用施設整備の受益面積	ha	—	↗	水質保全対策事業で整備するパイプラインを利用する田の面積	農政課
3 地産地消の環境づくりを推進します	身近な地域で採れた農産物を食べるように心掛けている市民の割合	%	52.5	↗	【市民】 「あなたは、日頃から身近な地域で採れた農産物を食べるように心がけていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	農政課
	地産地消をテーマとしたイベントや催し物への参加者数	人	23,000	↗	農業祭の来場者数	農政課
4 農業にふれあえる機会を充実します	市民菜園の利用面積	m ²	3,110.5 (H25年度)	↗	市民菜園の利用面積	農政課
	農業体験事業の参加者数	人	103	↗	農業体験事業の参加者数	農政課

基本施策20 商工業

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
市内総生産額の県内順位		位	8 (H22年度)	↗	あいちの市町村民所得	商工振興課
従業者数		人	51,804 (H24年)	↗	経済センサス（製造業および卸売業、小売業の合計人数）	商工振興課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 工業用地の整備と企業誘致を推進します	新規進出企業の累計数	社	12 (H23年)	↗	新たに市内に立地した企業（製造業）の累計数	企業立地推進課
	1事業所あたり製造品出荷額等の県内順位	位	19 (H23年)	↗	1事業所あたりの工業統計調査における従業者4人以上の事業所の製造品出荷額等の県内順位	商工振興課
2 既存商工業の経営を支援します	これからも小牧市で操業を続けたいと思う企業の割合	%	—	↗	市内の既存企業に対するアンケート調査により把握	商工振興課
	小牧市の産業支援策について、他市と比べ充実していると思う企業の割合	%	—	↗	市内の既存企業に対するアンケート調査により把握	商工振興課
3 起業・創業希望者を支援します	起業（創業）者数	人	5	↗	創業支援セミナーの受講者のうち、実際に起業（創業）した人数（累計）	商工振興課
	就職者数	人	437	↗	ふるさとハローワークを活用して実際に就職した人数	商工振興課

基本施策21 市街地整備

指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
小牧駅周辺が便利と思う市民の割合	%	32.3	↗	【市民】 「あなたは、小牧駅周辺が便利だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	都市政策課
名鉄小牧線沿線居住率	%	56.5	↗	名鉄小牧線沿線市街地の居住人口/市全体の人口	都市政策課

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
小牧市の景観について、好ましいと思う市民の割合		%	68.9	↗	【市民】 「あなたは、小牧市の景観が好ましいと感じますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	都市政策課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 鉄道駅周辺の都市機能を強化します	名鉄小牧線の駅が利用しやすいと思う市民の割合	%	42.7	↗	【市民】 「あなたは、市内の名鉄小牧線の駅が利用しやすいと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	都市政策課
	名鉄田県神社前・味噌・小牧・小牧口駅の年間乗降客数	人	7,259,994	↗	名古屋鉄道(株)把握の名鉄田県神社前・味噌・小牧・小牧口駅の年間乗降客数	都市政策課
2 良好な住宅地を創出します	土地区画整理事業の施行区域内の居住人口	人	9,940	↗	土地区画整理事業の施行区域内の居住人口	区画整理課
	土地区画整理事業の施行区域内の道路整備率	%	75.1	↗	道路整備済み延長/道路計画延長	区画整理課
3 都市景観を整えます	歴史的趣や緑豊かな小牧山が見える景観に魅力を感じる市民の割合	%	79.2	↗	【市民】 「あなたは、歴史的趣(おもむき)や緑豊かな小牧山が見える景観に魅力を感じますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	都市政策課

基本施策22 都市交通

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
小牧市の公共交通に満足している市民の割合		%	37.2	↗	【市民】 「市の公共交通（名鉄小牧線、路線バス、巡回バスなど）に満足している、または便利だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	都市政策課
公共交通機関の１日平均利用者数		人	37,078	↗	名鉄小牧線、路線バス、こまき巡回バスなどの１日平均利用者数の合計 ※一部市外乗降客含む。	都市政策課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
１より効果的・効率的な公共交通ネットワークを形成します	公共交通の利用者満足度	%	43.3	↗	【市民】 週に１回以上公共交通（名鉄小牧線、路線バス、こまき巡回バスなど）を利用している市民のうち「市の公共交通に満足している、または便利だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	都市政策課
	こまき巡回バス１日平均利用者数	人	1,085.7	↗	こまき巡回バスの１日平均利用者数	都市政策課
	駐輪場の不足台数	台	101	↘	管理駐輪場における空車台数－管理駐輪場周辺に放置される自転車台数	都市政策課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
2 公共交通の利用を啓発します	通勤目的の公共交通利用率	%	10.0 (H21年度)	↗	通勤目的の公共交通利用率	都市政策課
	バス運行対策補助路線の利用者数	人	383,831	↗	乗合バス事業者に対し、運行経費を補助しているバス路線の利用者数 ※対象：ピーチバス	都市政策課

基本施策23 道路

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
安全・快適で円滑に移動できる道路空間が確保できていると思う市民の割合		%	41.7	↗	【市民】 「小牧市は「安全・快適で円滑に移動できる道路空間(自動車道路も歩行者道路も含む)が確保できているまち」だと思いますか?」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	道路課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 円滑に移動できる道路を整備します	渋滞が多いまちと思うドライバーの割合	%	56.5	↘	【市民】 日頃から自動車を運転している市民のうち「小牧市は「交通渋滞が多いまち」だと思いますか?」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	道路課
2 交通安全施設を整備します	歩行者の交通事故件数	件	70 (H24年)	↘	小牧警察署把握の歩行者の交通事故件数(暦年)	道路課
3 橋りょうを計画的に管理します	橋りょうの耐震補強工事実施率	%	55.8	↗	耐震補強工事済橋りょう数/耐震補強を必要とする橋りょう数	道路課

基本施策24 上水道

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
断水を伴う突発的な漏水事故件数		件	7	↘	老朽化した水道管の破損による断水を伴う修繕工事件数	水道課
安全でおいしい水と思う市民の割合		%	80.1	↗	【市民】 「小牧市の「水」は安全で美味しいと思いますか?」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	水道課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 安全でおいしい水を供給します	水質基準不適合率	%	0	0	水質基準不適合回数/全検査回数	水道課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
2 いつでも安定的に水を供給します	主要幹線管路の耐震管によるループ化率	%	67.4	↗	中心市街地および外周の主要幹線27.6kmを耐震管でループ化した進捗率	水道課
	配水管の耐震化率	%	15.0	↗	耐震化した配水管/総配水管延長	水道課
3 健全な経営を持続します	水道料金の収納率	%	98.8	↗	収納額/調定額	料金課
	経常収支比率	%	97.9	↗	(営業収支+営業外収支)/(営業費用+営業外費用)	料金課

基本施策25 下水道

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
公共下水道接続率		%	64.0	↗	供用開始区域内下水道接続人口/行政域内人口	下水道課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 公共下水道の普及を推進します	公共下水道普及率	%	70.1	↗	供用開始区域内人口/行政域内人口	下水道課
2 老朽管などの更新を推進します	不明水率	%	13.3	↘	(五条川左岸浄化センターへの流入汚水量-下水道料金徴収の対象となった汚水量)/五条川左岸浄化センターへの流入汚水量	下水道課
	下水道施設故障件数	件	0	0	下水道施設故障件数	下水道課
3 公共下水道への接続を促進します	公共下水道水洗化率	%	91.3	↗	供用開始区域内下水道接続人口/供用開始区域内人口	下水道課

基本施策26 河川・水路

指標		単位	基準値	目指す 方向性	指標の説明	担当課
床上浸水の被害戸数		戸	0	0	市内での床上浸水の被害戸数	河川課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す 方向性	指標の説明	担当課
1 浸水区域を解消 します	排水ポンプ場処理流域における床上、床下浸水の被害戸数	戸	0	0	排水ポンプ場処理流域における床上、床下浸水の被害戸数	河川課
	床上、床下浸水の被害戸数	戸	22	↘	市内での床上、床下浸水の被害戸数	河川課
2 河川への雨水流出を抑制 します	雨水貯留率	%	41.0	↗	当該年度までの設置雨水貯留総量/ 「新川流域水害対策計画」に基づく計画雨水貯留量	河川課

基本施策27 公園・緑地・緑道

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
緑が豊かなまちと思う市民の割合		%	73.0	↗	【市民】 「小牧市は「緑が豊かなまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	みどり公園課
緑の創出面積		m ²	7,396	↗	緑化助成や公園・緑地・緑道の整備により創出された緑地の面積	みどり公園課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 緑化意識を高め ます	家庭などで花や木を育てている市民の割合	%	75.5	↗	【市民】 「あなたは、家庭などで花や木を育てていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	みどり公園課
	緑化推進協議会グループ活動数	団体	—	↗	小牧市緑化推進協議会緑化推進活動助成金の交付団体の数	みどり公園課
2 安全・快適な公園を維持 します	市民協働による公園管理数	箇所	—	↗	公園の利用ルールを市民との協働により策定した公園数	みどり公園課
	市民四季の森が適切に管理された魅力的な公園と思う来場者の割合	%	—	↗	バラ・アジサイまつり来場者へのアンケートにおいて「市民四季の森が適切に管理された魅力的な公園だと思う」と回答した来場者の割合	みどり公園課
3 公園・緑地・緑道の整備を推進 します	市民1人あたりの都市公園面積	m ² /人	7.3	↗	都市公園面積/人口	みどり公園課

基本施策28 住宅

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
現在、居住している住まいが安全・安心と思う市民の割合		%	61.9	↗	【市民】 「あなたがお住まいの住宅は、災害に対して、安全・安心だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	建築課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 安全・安心で良好な住宅・住環境の整備を推進します	耐震性がないと判断された民間木造住宅のうち、耐震改修した住宅の割合	%	14.9	↗	耐震改修した住宅棟数/耐震性がないと判断された木造住宅棟数	建築課
	市の補助を受け、アスベストの除却工事を行った民間建築物の件数	件	1	↗	市の補助を受け、アスベストの除却工事を行った民間建築物の件数(累計)	建築課
	新築住宅棟数に対する長期優良住宅認定制度の認定を受けた住宅棟数の割合	%	23.1	↗	長期優良住宅の認定を受けた住宅棟数/新築住宅棟数	建築課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
2 適正に市営住宅を管理・運営します	市営住宅の入居率	%	100	100	1年間空き家状態以外の戸数/全戸数（92戸）	建築課
	福祉世帯の入居率	%	60.9	↗	福祉世帯の戸数/全戸数（92戸）	建築課

基本施策29 行政サービス

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
質の高い行政サービスを提供していると思う市民の割合		%	60.8	↗	【市民】 「小牧市は「質の高い行政サービスを提供しているまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	市政戦略課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 窓口業務などを充実します	届出・手続き・証明書交付などの窓口サービスが利用しやすく、便利と思う市民の割合	%	84.1	↗	【市民】 1年間に「市役所窓口（支所窓口などを含める）」を利用したことがある市民のうち「あなたは、市役所窓口（支所窓口などを含める）で行う「届出・手続き・証明書交付等の手続き」は分かりやすく簡単だと感じていますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	市政戦略課
	窓口での職員の対応に満足している市民の割合	%	94.3	↗	来庁者へのアンケートにおいて「窓口での職員対応に満足している」と回答した来庁者の割合	人事課
2 民間活力の活用を進めます	公募により指定管理者制度を導入した施設数	施設	14 (H25年度)	↗	公募により指定管理者制度を導入した施設数	市政戦略課
	新規に外部委託した業務の件数	件	—	↗	平成25年度を基準とし「民間委託の推進に関する指針」に基づき新たに外部委託した業務数（累計）	市政戦略課

基本施策30 地域協働

指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
地域づくりに関心がある市民の割合	%	46.3	↗	【市民】 「あなたは、「まちづくりや身近な地域づくりに関心がありますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	協働推進課
区（自治会）や市民活動団体などが開催する活動に参加したことがある市民の割合	%	44.8	↗	【市民】 「あなたは、この1年間に区（自治会）や市民活動団体などが実施する活動に協力したことがありますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	協働推進課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 協働によるまちづくりの環境を充実します	自治基本条例を知っている市民の割合	%	—	↗	【市民】 「あなたは、「自治基本条例」を知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	協働推進課
	市民活動団体数	団体	102	↗	市民活動団体として登録した団体数	協働推進課
	協働提案による事業実施数	件	8 (H25年度)	↗	協働提案事業化制度による事業実施数	協働推進課
2 コミュニティ活動を推進します	地域協議会の取組を知っている市民の割合	%	—	↗	【市民】 「あなたは、地域協議会の取組を知っていますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	協働推進課
	自治会加入率	%	83.6	↗	自治会加入率	協働推進課

基本施策31 行政運営

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
信頼できる市政運営を行っていると思う市民の割合		%	55.8	↗	【市民】 「小牧市は「信頼できる市政運営が行われているまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	市政戦略課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 情報の共有化を推進します	市民の意見を聴く機会が充実していると思う市民の割合	%	46.5	↗	【市民】 「小牧市は「市民の意見を聴く機会が充実しているまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	協働推進課
	市ホームページへのアクセス件数	件/月	394,542	↗	月当たりの市ホームページへのアクセス件数	秘書広報課
	広報こまきを毎号読んでいる市民の割合	%	71.9	↗	【市民】 「あなたは、「広報こまき」を毎号読んでいますか？」という問いに「はい」と回答した市民の割合	秘書広報課
2 時代に即した組織体制を整備します	組織横断的なプロジェクトチームの設置数	チーム	7	↗	組織横断的なプロジェクトチームの設置数	市政戦略課

展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
3 時代に即した人材マネジメントを推進します	常に高い意欲を持って職務に取り組んでいる職員の割合	%	92.6	↗	「常に高い意欲を持って職務に取り組んでいますか？」という問いに「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」と回答した職員の割合	人事課
	類似団体における職員数の順位	位	35/88団体(H23年度)	↗	人口および産業構造等により市町村を35のグループに分類した同じグループに属する団体（類似団体）における人口千人あたりの職員数の順位	人事課
	提案制度に基づく取組みの実施件数	件	4(H25年度)	↗	提案制度に基づく取組みの実施件数	市政戦略課
4 効果的・効率的な行政運営を推進します	無駄のない市政運営が行われていると思う市民の割合	%	41.5	↗	【市民】 「小牧市は「無駄の無い市政運営が行われているまち」だと思いますか？」という問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	市政戦略課

基本施策32 財政運営

指標		単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
経常収支比率		%	85.2	↘	人件費、扶助費、公債費など経常的に支出する経費に充当した地方税や地方譲与税など一般財源を経常一般財源で除したもの。財政構造の弾力性を示す。	財政課
展開方向	指標	単位	基準値	目指す方向性	指標の説明	担当課
1 歳入確保の取組みを強化します	市税収納率	%	93.9	↗	現年度・過年度収入済額/課税分調定額	収税課
2 歳出の削減と合理化を推進します	平成25年度当初予算と比べた経常的経費の削減額	千円	—	5 %削減	平成25年度当初予算と比べた経常的経費（消耗品や印刷製本費など経常的に毎年執行する経費で担当部局での調整が可能なもの）の削減額	財政課
3 健全で計画的な財政運営を推進します	実質公債費比率	%	0.5	2.5%以内	市税などの毎年経常的に収入される財源に占める償還に要する費用（特別会計や企業会計などへの繰出金のうち、償還に要する費用に充てられるものも含む）の割合を示す。	財政課

8 関連条例・関連計画一覧

基本施策	条例 計画	名称	施行年月 計画期間
1 防災	計画	小牧市地域防災計画（地震災害対策計画・風水害・原子力等災害対策計画・附属資料）	平成 25 年 11 月改定
	計画	小牧市国民保護計画	平成 26 年 4 月改定
	計画	小牧市地震対策業務継続計画	平成 26 年 3 月策定
	計画	小牧市新型インフルエンザ対策行動計画	平成 26 年 4 月改定
	計画	小牧市新型インフルエンザ業務継続計画	平成 26 年 4 月改定
		洪水ハザードマップ	平成 16 年 3 月作成
		地震防災マップ	平成 21 年 3 月作成
2 生活安全	条例	小牧市交通安全及び防犯の推進に関する条例	平成 15 年 4 月施行
3 消防・救急	条例	小牧市火災予防条例	昭和 55 年 7 月施行
	計画	救急高度化推進計画書	毎年策定 計画期間 10 年
4 環境対策	条例	小牧市環境基本条例	平成 15 年 4 月施行
	条例	小牧市快適で清潔なまちづくり条例	平成 20 年 4 月施行
	計画	小牧市環境基本計画	平成 25 年度～ 30 年度
5 ごみ対策	条例	小牧市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例	平成 20 年 4 月施行
	条例	小牧市快適で清潔なまちづくり条例	平成 20 年 4 月施行
	計画	小牧市環境基本計画	平成 25 年度～ 30 年度
	計画	小牧市ごみ処理基本計画	平成 22 年度～ 31 年度
	計画	小牧市一般廃棄物処理実施計画	毎年策定
	計画	小牧岩倉地域循環型社会形成推進地域計画	平成 20 年度～ 27 年度
6 健康づくり	計画	健康こまき いきいきプラン	平成 22 年度～ 26 年度

基本施策	条例 計画	名称	施行年月 計画期間
7 地域医療	計画	第5次小牧市高齢者保健福祉計画 (小牧市老人福祉計画・小牧市介護保険事業計画)	平成24年度～26年度
8 高齢者福祉	計画	第5次小牧市高齢者保健福祉計画 (小牧市老人福祉計画・小牧市介護保険事業計画)	平成24年度～26年度
9 障がい者 (児) 福祉	計画	第2次小牧市障がい者計画	平成21年度～30年度
	計画	第3期小牧市障がい福祉計画	平成24年度～26年度
10 地域福祉	計画	第2次小牧市地域福祉計画・地域福祉活動計画	平成24年度～28年度
11 地域医療	条例	小牧市医療費の支給に関する条例	平成15年4月施行
	計画	第2期小牧市国民健康保険特定健康診査等実施計画	平成25年度～29年度
12 学校教育	計画	小牧市教育ビジョン	平成13年3月策定
	計画	小牧市教育ビジョン推進計画	平成14年3月策定
13 子育て支援	計画	小牧市次世代育成支援対策行動計画(後期)	平成22年度～26年度
	計画	小牧市立保育園運営計画	平成22年3月策定
14 スポーツ	計画	小牧市スポーツ振興計画	平成22年度～31年度
	計画	小牧市総合型地域スポーツクラブ推進計画	平成18年8月策定
15 文化振興	条例	小牧市文化財保護条例	昭和52年4月施行
	計画	第2次小牧市文化振興ビジョン	平成23年度～32年度
	計画	史跡小牧山整備計画基本構想	平成11年3月策定
16 生涯学習	計画	第3次小牧市生涯学習推進計画	平成25年度～31年度
	計画	小牧市子ども読書活動推進計画(第2次)	平成23年度～27年度
	計画	新小牧市立図書館建設基本構想	平成20年3月策定
	計画	新小牧市立図書館建設基本計画	平成21年3月策定
17 男女共同 参画	条例	小牧市男女共同参画条例	平成15年4月施行
	計画	小牧市男女共同参画基本計画 ハーモニーⅡ	平成16年度～26年度

基本施策	条例 計画	名称	施行年月 計画期間
18 シティプロ モーション	計画	小牧市多文化共生推進プラン	平成 23 年度～ 27 年度
	計画	小牧市中心市街地活性化基本計画	平成 12 年 3 月策定
19 農業	計画	小牧農業振興地域整備計画	昭和 50 年策定
	計画	小牧市 人・農地プラン	平成 25 年 3 月策定
	計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	平成 18 年 10 月策定
	計画	(仮称) 小牧市農業公園整備基本構想	平成 20 年 3 月策定
	計画	(仮称) 小牧市農業公園整備基本計画	平成 21 年 3 月策定
	計画	第 2 次小牧市食育推進計画	平成 24 年度～ 28 年度
20 商工業	計画	小牧市東部地区開発基本計画	平成元年策定 平成 10 年見直し
	計画	小牧市東部地区産業立地開発基本構想	平成 13 年策定
21 市街地整 備	条例	小牧市都市景観条例	平成 13 年 4 月施行
	計画	小牧市中心市街地活性化基本計画	平成 12 年 3 月策定
	計画	小牧市都市計画マスタープラン	平成 22 年度～ 31 年度
	計画	小牧市都市景観基本計画	平成 14 年 3 月策定
	計画	小牧市サイン計画	平成 12 年 3 月策定
	計画	小牧駅周辺整備計画	平成 20 年 3 月策定
22 都市交通	計画	小牧市総合交通計画	平成 23 年度～ 32 年度
23 道路	計画	小牧市都市景観基本計画	平成 14 年 3 月策定
	計画	小牧市総合交通計画	平成 23 年度～ 32 年度
	計画	小牧市緑の基本計画	平成 24 年 3 月改定 目標年次 平成 32 年度
24 上水道	条例	小牧市水道事業の設置等に関する条例	昭和 42 年 4 月施行
	計画	小牧市水道ビジョン	平成 22 年 3 月策定

基本施策	条例 計画	名称	施行年月 計画期間
25 下水道	条例	小牧市下水道条例	昭和 61 年 10 月施行
	条例	小牧市下水道事業受益者負担に関する条例	昭和 60 年 3 月施行
	計画	小牧市公共下水道基本計画	平成 23 年 3 月変更 目標年次平成 37 年
	計画	小牧市流域関連公共下水道事業計画	平成 24 年 1 月変更 目標年次平成 29 年度
26 河川・水路	計画	新川圏域河川整備計画	平成 19 年 10 月策定 概ね 30 年間
	計画	新川流域水害対策計画	平成 19 年 10 月策定 概ね 30 年間
27 公園・緑地・緑道	条例	小牧市都市公園条例	昭和 50 年 4 月施行
	計画	小牧市緑の基本計画	平成 24 年 3 月改定 目標年次 平成 32 年度
28 住宅	計画	小牧市耐震改修促進計画改訂版	平成 24 年度～ 32 年度
29 行政サービス	計画	小牧市情報セキュリティポリシー	平成 23 年 7 月改定
30 地域協働	条例	小牧市市民活動推進条例	平成 17 年 4 月施行
	計画	まちを育む市民と行政の協働 ルールブック「はじめの一步（理念）編」	平成 20 年 3 月策定
	計画	まちを育む市民と行政の協働 ルールブック「元気なまち育て（実務）編」	平成 22 年 10 月策定
31 行政運営	条例	小牧市情報公開条例	平成 13 年 4 月施行
	条例	小牧市個人情報保護条例	平成 16 年 4 月施行
	計画	重点改革プラン	平成 23 ～ 26 年度
	計画	小牧市定員適正化計画	平成 18 年 3 月策定
	計画	小牧市人材育成基本方針	平成 17 年 1 月策定
32 財政運営			

9 用語解説

(五十音順)

用 語	解 説
【あ行】	
ICT	Information and Communication Technology の略で、情報通信技術を表す。IT に比べて、「情報」に加えて「コミュニケーション」性が具体的に表現されている点に特徴があり、ネットワーク通信による情報・知識の共有が念頭に置かれた表現。
あさひ学園	心身障がい児通園施設。本市における早期療育の拠点として、就学前の障がいのあるこどもまたは発達に支援が必要なこどもを対象として、親子通園により日常生活の指導、集団生活適応訓練などを行っている。障害福祉サービスの「児童発達支援」等の機能を有するが、市の独自事業として実施している。
アスベスト	石綿（せきめん、いしわた）とも呼ばれる、天然の鉱物繊維。耐熱性、耐薬品性、絶縁性等の特性があり、安価な工業材料であることから、建設資材、電気製品、自動車、家庭用品等 3,000 種を超える利用形態があるといわれている。その繊維が極めて細いため、大気中に飛散すること、吸い込むことが大きな問題となっている。
アダプトプログラム	市内の道路、河川、公園などの公共施設を、市民、市民活動団体が愛情と責任を持って清掃等の美化活動を進める制度。
一時保育	保護者の就労や病気等で、断続的又は一時的に家庭での保育が困難な児童を、保育園で預るもの。
ウィメンズネットこまき	各分野で活動している市内の女性団体・グループの出会いとふれあいの場として形成されたネットワーク。
A 街区	小牧駅西駅前広場とラピオの間にある市営小牧駅西駐車場を含む道路に囲まれた街区。
SNS	ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティ型の会員制のサービス。

用 語	解 説
【あ行】	
尾張北部医療圏	愛知県の医療計画のなかで、1次医療（通院医療）から2次医療（入院医療）までを包括的、継続的に提供し、一般および療養の病院病床の整備を図るために設定された区域のことであり、小牧市の近隣市町である春日井市、犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町が含まれる。
温室効果ガス	大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより温室効果をもたらす気体の総称。二酸化炭素、メタンなどがある。
【か行】	
学習指導要領	文部科学省が定めた、小・中・高等学校及び特別支援学校において、教育内容や計画を作成する際に基準となるもの。
環境基準	人の健康の保護および生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として、終局的に、大気、水、土壌、騒音をどの程度に保つことを目標に施策を実施していくのかという目標を定めたもの。
がん診療連携拠点	国が全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、全国397箇所の病院を指定している（平成25（2013）年8月1日現在）。専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援および情報提供等を行う。
緩和ケア病棟	がんおよび後天性免疫不全症候群（AIDS）の患者を対象として、医師や看護師、臨床心理士など多職種で協働しながら、からだや気持ちのつらさを和らげる緩和ケアを提供するための専門病棟。
キャリア教育	少子高齢社会の到来や雇用形態の多様化・流動化など、進路をめぐる環境が大きく変化している中、子どもたちが激しい社会の変化に対応し主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や、しっかりとした勤労観・職業観を身に付け、それぞれが直面する課題に柔軟に、かつ、たくましく対応し、社会人・職業人として自立できるようにする教育。
救急救命士	厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、救急救命処置を行うことを業とする者。

用 語	解 説
【か行】	
協働提案事業化制度	市民（市民活動団体）と行政それぞれが、地域で生じている課題を解決する”協働事業”を提案し、事業化する制度。
緊急輸送路	大規模な地震等の災害が発生した場合に、救命活動や物資輸送を円滑に行うために、県や市などが事前に指定した道路（路線）のこと。
クリーンアップ事業	ポイ捨てによる散乱ごみの収集活動を行う10人以上で構成された団体に、ボランティア袋等の資材を配付することにより美化活動の推進を図るもの。
グループホーム	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に定める障害福祉サービスの一つで、障がいのある人が、主として夜間において、共同生活を営むべき住居において入浴、排せつ、食事の介護、相談その他の日常生活上の援助を受けるサービスである。グループホーム入居者の平日の日中は、一般就労あるいは日中活動系サービスを利用する。
経常収支比率	人件費、扶助費、公債費等の経常的に支出する経費に、税金等の経常的一般財源がどの程度充てられているかを示すもので、財政構造の弾力性を表す。80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられる。
健康寿命	日常生活動作が自立している期間 （注：国が公表している健康寿命は、国民生活基礎調査により算定していますが、本計画での健康寿命は介護度等から算定しているため両数値の比較はできません。）
公園施設長寿命化計画	公園施設の修繕・改築の計画を定め、公園施設の安全性確保と機能保全を図りつつ、修繕・改築予算の縮減や平準化を図ることを目的に策定するもの。
公共下水道普及率	下水道の供用開始区域内人口を住民基本台帳人口で除したもの。
耕作放棄地	耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地。

用語	解説
【か行】	
洪水ハザードマップ	大雨や洪水（河川による浸水）による浸水想定区域と想定される水深、避難場所、避難時に必要な情報を示したもの。
後発医薬品 （ジェネリック医薬品）	薬の特許が切れた後に、ほぼ同等の品質で製造販売される比較的低価格な薬。
高齢化率	65 歳以上人口が総人口に占める割合。
交流人口	その地域に訪れる人のこと。
子育て支援室	親子で安心して遊べる場の提供や子育て相談などを行う子育て支援の拠点施設。
個人番号カード （マイナンバーカード）	国民一人一人に固有の番号を割り振る社会保障・税番号制度において、本人確認などに使用される識別カード。
小牧市 人・農地プラン	地域農業マスタープラン。担い手問題や農地集積など、当該地域が抱える農業の問題点において、行政と地域が共に考え、解決策を導き出し、今後も地域の農業が継続できるようにすることを目的としたプラン。
小牧市入札制度改革基本方針	「最少の経費で最大の効果の追求」「適正な条件設定のもとでの競争性・公平性の確保」「情報公開などによる透明性の確保」を基本原則としつつ、市内建設企業を育てる入札制度の方向性を示したもの。
小牧山	国指定史跡。市街地の西に位置する標高 85.9m の小山。永禄 6（1563）年に織田信長が小牧山に築城し、清須から居城を移した。
こまなびサロン	市公民館（市民会館）4 階にある生涯学習に関する相談や情報提供、講座の企画・運営を行っている生涯学習推進のための拠点。
コミュニティ	区（自治会）・小学校単位の活動を含め、一定地域での居住に基づく人々の集団。
コンパクトシティ	市街地の無秩序な拡大を図るのではなく、既存都市の中心部を有効に活用し、そこに多様な機能を集積させた都市の形態あるいはその構築を目指す考え方。
コンプライアンス	法令違反をしないというだけでなく、組織内の各種ルールを遵守すること、さらに社会常識や高い倫理観に則って正しい行動をすること。

用 語	解 説
【さ行】	
災害時要支援者	高齢者や障がい者等のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難であり、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために特に支援を要する者。
栽培記帳 (トレーサビリティ)	農業者が、あらかじめ決められた基準に基づいて生産活動（生産工程管理）を行った内容を記帳し、農産物を販売する際に消費者や取引先に対して生産情報を開示する取組みの記録。
在宅医療	患者が普段居住する場所（自宅など）での医療。
資源回収ステーション	家庭から排出される資源ごみ（プラスチック製容器包装、空きびん、空き缶、金属類、ペットボトル、古紙・古布、蛍光灯類、廃食用油）を持ち込みできる施設。
資源循環型社会	これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わるものとして提示された概念。第一に製品などが廃棄物などとなることを抑制し、第二に排出された廃棄物などについてはできるだけ資源として適正に利用し、最後にどうしても利用できないものは適正に処分することが徹底されることにより実現される「天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された」社会。
地震防災マップ	想定される大規模地震が発生した場合に予測される震度の分布について、市内を色分けした「揺れやすさマップ」と震度の分布と現状の建物の状況（建てられた年代と木造・非木造の区分）から、地域にある建物のうち全壊する建物の割合を計算して色分けした「地域の危険度マップ」で構成されている。
指定管理者制度	民間の能力を活用することで多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応し、市民サービスの向上や経費の節減を図るため、公の施設の管理を市が指定する法人やその他の団体が行う制度。
シティプロモーション	「地域イメージのブランド化」を進め、地域の魅力を創造し、それを地域の内外へと広めることで、観光客や転入者を増やすこと、また住民に誇りや地元愛を根づかせる取り組み。

用 語	解 説
【さ行】	
市民活動センター	市民のボランティア活動や NPO 活動などの情報提供や活動を支援する拠点。
自治会	市町村内の各地域で自発的に組織された町内会の拡大名称のこと。一地域の居住者が、自分たちの共通利益の実現と生活の向上を目的として作る組織。
実質公債費比率	市税等の毎年経常的に収入される財源に占める償還に要する費用（公債費）の割合を示す。特別会計や企業会計等への繰出金のうち、公債費に充てられるものも含む。25%を超えると、財政立て直しの道筋を示した財政健全化計画の策定が必要となる。
市内総生産額	1 年間に市内で行われた各経済活動部門の生産活動によって新たに生み出された付加価値の貨幣評価額。これは、市内の生産活動に対する各経済活動部門の寄与を表わすものであり、産出額から中間投入（原材料、光熱費等の経費）を控除したもの。
しのおかの桃	小牧の桃は、市東部の篠岡地区で明治時代から栽培が始められ、現在では県内有数の産地となっている。特に「しのおかの桃」は独特の赤土と日当たりの良い斜面を利用して作られるため、玉太りがよく糖度も高いため全国的にも名高く、逸品として知られている。
住宅セーフティネット	独力では住宅を確保することが困難な方々が、それぞれの所得、家族構成、身体状況等に適した住宅を確保できるようなさまざまな仕組み。
住宅確保要配慮者	低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮が必要な人。
準用河川	1 級河川及び 2 級河川以外の「法定外河川」のうち市町村長が指定し管理する河川。
消費生活相談員	消費生活相談に応じるために一定水準以上の知識と能力を持ち合わせている人。
消防団	消防本部と共に火災や災害への対応、予防啓発活動等を行う、消防組織法に基づいた消防組織。

用 語	解 説
【さ行】	
初動マニュアル研修	災害時の職務内容を理解習得し、災害時の活動を迅速かつ的確に行うために実施する図上訓練、緊急初動対策班員研修、水防訓練及び防災訓練等、日頃より実施する様々な訓練及び研修。
新川圏域河川整備計画	愛知県が新川流域において、計画策定の平成 19 年から概ね 30 年間で実施する河川整備等の内容を定めた計画。
女性センター	まなび創造館に設置された男女共同参画社会づくりの拠点施設。
3R（リデュース・リユース・リサイクル）	Reduce（発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再生利用）の頭文字をとった言葉。
スポーツ振興会	地域住民が主体となり、地域でのスポーツ振興を行っている会。
生活介護	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に定める障害福祉サービスの一種で、常時介護を要する障がい程度が一定以上の障がいのある人が、主として昼間において、障がい者支援施設やデイサービスセンターで、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供等を受けるサービスである。
製造品出荷額等	1 年間の「製造品出荷額」、「加工賃収入額」、「修理料収入額」、「製造工程から出たくず及び廃物」の出荷額と「その他の収入額」の合計で、消費税等の内国消費税を含んだ額。
【た行】	
待機児童	認可保育所へ入所申請をしながらも満員のために入所できない児童。（国の保育所入所待機児童の定義による。）
多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていくこと。
第一次救急医療	入院の必要がない救急患者に対して診療を提供できる医療体制。
第三次救急医療	脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷などの重篤な患者を 24 時間体制で受け入れ、高度な診療を提供できる医療体制。

用語	解説
【た行】	
男女共同参画普及員	男女共同参画意識を高め、各地区で男女共同参画の推進・普及を働きかけることなどを目的に、平成 19（2007）年度から区長の推薦により配置。
地域包括ケアシステム	要介護状態等になっても、高齢者が可能な限り住み慣れた地域において自立した生活ができるよう、介護、予防、医療、生活支援サービス、住まいを切れ目なく提供していくという考え方。
地域包括支援センター	保健師または経験のある看護師、主任ケアマネジャーおよび社会福祉士を置き、介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント等を業務として介護保険法に規定された機関である。地域包括支援センターは、生活圏域を踏まえて設置されている。
地産地消	地元の農産物を地元で消費すること。
中央子育て支援センター	親子で安心して遊べる場の提供や子育て相談などを行う子育て支援の拠点施設。
長期優良住宅認定制度	長期にわたり良好な状態で使用するための措置が、その構造及び設備について講じられた優良な住宅。県または市から認定を受けると、さまざまな税制優遇が適用される。
低炭素社会	炭素（二酸化炭素）の排出を抑えた社会のこと。
デマンド交通	電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態。
土地区画整理事業	公共施設の整備改善および宅地の利用の増進を図るため、土地の区画形質の変更および公共施設の新設または変更を行い、健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする事業。
DV	ドメスティックバイオレンスの略。配偶者や恋人等の親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力。
【な行】	
内水排除	河川の水位が上昇して、堤防に囲まれた堤内地（堤防により洪水の氾濫から守られている土地）に水が湛水し、家屋や作物等への被害が生じることを内水被害といい、堤内地の湛水や堤内小河川の水を堤外地（洪水や流水の流れる河川側）に排水すること。

用 語	解 説
【な行】	
内部統制	違法行為、不正、ミスなどが発生することなく、法令や、所定の基準、手続き等に基づいて、業務が、健全、かつ効率的に運営されるよう、組織自らが自律的に管理統制を行う仕組み。
日中活動系サービス	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）により、日中活動の場と住まいの場をそれぞれ選択することになる。日中活動の場とは、生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、療養介護及び短期入所で提供されるサービスをいう。
認知症サポーター	認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守り、支援し、だれもが暮らしやすい地域をつくっていくボランティアで、「認知症サポーター養成講座」を受講した者をいう。
認知症見守りネットワーク	徘徊し行方のわからなくなった高齢者の情報を事前に協力員として登録していただいた方に、メールやFAXで身体の情報などを配信、協力員の方が、外出される時などに、いつもより少し周りを気にかけていただき、徘徊者の早期発見・保護につながる取組みにより、地域における理解や日頃の見守り活動をしていく取組みなど。
ヌートリア	南アメリカ原産のは乳類。農作物への食害があり、また在来生物の生態系への影響も大きいため、環境省指定特定外来生物となっており、駆除が進められている。
【は行】	
パブリックコメント	市民生活に広く影響を及ぼす基本的な施策などを策定する際に、その案を事前に公表して意見を募集し、それを考慮して意思決定するとともに、提出された意見とそれに対する市の考え方を公表する一連の手続き。
BOD	生物化学的酸素要求量。水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量。河川の有機汚濁を測る代表的な指標である。
非構造部材	構造設計の主な対象となる柱や梁などの構造体（躯体）ではなく、天井材や外壁（外装材）、照明器具、家具、窓ガラスなど構造体ではない部材。

用 語	解 説
【は行】	
ファシリティマネジメント	施設とその環境を経営にとって最適な状態で保有し、運営し、維持するための総合的な管理手法。
ファミリー・サポート・センター	地域において児童の預り等の援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整を行うことにより、多様なニーズへの対応を図るもの。
扶助費	社会保障制度の一環として、障がい者、高齢者、児童、生活困窮者等を援助するための経費。
ブックスタート	4ヶ月児の赤ちゃんへ絵本の読み聞かせを行い、絵本をプレゼントする事業。
不明水	五条川左岸浄化センターへの流入汚水量のうち、下水道使用料徴収の対象となった汚水量以外の汚水量。
ブランドブック	小牧市のブランドイメージ（魅力）をわかりやすくまとめた冊子。
ふるさとハローワーク	地域職業相談室。公共職業安定所が設置されていない市町村において、職業相談・職業紹介等を行っている。
ふれあい・いきいきサロン	ひとり暮らしの高齢者等を対象としたサロン。外出のきっかけづくりや交流、仲間づくりの場の提供を行っている。
ふれあいセンター	市民の福祉ニーズに応じた各種相談、ボランティアの育成、福祉情報の提供等を総合的に行う福祉活動の拠点。
放課後児童クラブ	放課後児童健全育成事業として学校の余裕教室などを利用して児童等に放課後の遊び場や生活の場を提供するもの。対象は保護者が就労などで留守家庭の小学生児童。
訪問系サービス	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）における居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援をいい、自宅で入浴、排せつ、食事等の介護を行なうなどのサービスを提供する。
防災アセスメント調査	大規模な地震によってどのような被害が発生するのかを予測することによって、被害を少なくするにはどのような対策が必要かを事前に検討することを目的に行った調査。

用 語	解 説
【は行】	
ボランティア	自発的な意志に基づいて無報酬で社会事業などに技術援助、労務提供を行うなどの奉仕活動をする人。
ボランティアポイント制度	ボランティア活動を支援する新たな仕組みで、ボランティア活動でポイントが貯まり、貯まったポイントを行政サービスや地域商品券などで還元する仕組み。
【ま行】	
メタボリックシンドローム	内臓脂肪症候群。内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上をあわせもった状態。
【や行】	
八雲町	北海道渡島半島の北部にある人口約2万人の町。明治時代に尾張藩から八雲へ入植し、開拓を行ったのが八雲町の始まり。昭和57（1982）年に尾張徳川家が小牧市と八雲町との交流を提言されたのがきっかけで友好都市交流を行っている。
【ら行】	
緑化推進協議会	自然の保護、環境緑化の推進を図り、緑とやすらぎのある美しいまちの建設に寄与することを目的とした組織。
療育	障がいを持つこどもが社会的に自立することを目的として行われる。医療・治療の「療」と、養育・保育・教育の「育」を合体した造語。
レアアース	31 鉱種あるレアメタル（地殻中の存在量が比較的少なかったり、採掘と精錬のコストが高いなどの理由で流通・使用量が少ない非鉄金属）の一種で、17 種類の元素（希土類）の総称。
【わ行】	
ワーク・ライフ・バランス	誰もがやりがいや充実感を得ながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持ち、健康で豊かな生活ができるよう仕事と生活の両方の調和を実現すること。

第6次 小牧市総合計画 新基本計画

平成26年3月

発 行／小牧市

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地

TEL：0568-72-2101（代表）

FAX：0568-71-3138

編 集／小牧市 市長公室 市政戦略課

E-mail：shisei@city.komaki.lg.jp

表紙写真説明

左上：バレーボールの国際大会なども開催されるパークアリーナ小牧
（小牧市スポーツ公園総合体育館）

右上：県営名古屋空港と各都市を結ぶFDA（フジドリームエアラインズ）
（写真提供：（株）フジドリームエアラインズ）

左中：たくさんの市民が参加した「こまき信長まつり」での450人太鼓

右中：東名・名神高速道路、中央自動車道につながり交通の要衝である小牧インターチェンジ付近

左下：こどもの夢を育み、夢へのチャレンジをみんなで応援するまち（イメージ）

右下：織田信長が初めて自ら築いた小牧山城（国指定史跡 小牧山）

